## 本協議会で検討する具体的な情報処理機能の構成

	処理概要	入力情報	出力情報	既存システムの事例	必要な機器等
<ul><li>◎委託契約の 締結並びに 管理を効率 化する機能</li></ul>	排出事業者と収集運搬業者、再資源化施設等の委託契約 の締結等を効率化する	排出事業者と収集運搬業者、再資源(・廃掃法施行令 第6条の2 第3項  (委託する産業廃棄物の種類及び数量、	こ示された事項	-	・電子文書や電子化文書 ・電子メールでの送受信 ・インターネットを使用した送 受信 などを想定
最適な画なと、機能	現場からの廃棄物の回収要望を把握する 現場の位置や現場までの使用道路の幅員など現場の 基礎情報を登録する。 現場から情報管理センターへ廃棄物の回収依頼を行 う(廃棄物の種類、量(個数)、回収日時を連絡)。	現場が入力 ・現場の位置情報、使用道路など制約条件 ・廃棄物の種類、量、荷姿 ・廃棄物の回収希望日時		物流管理システム	・ P C (サーバ・クライアント システム) ・ A S Pサーバ ・ルート立案ソフトウェア
	各現場の回収要望から最も効率的な回収ルートを立案する     各現場の要望(廃棄物の種類、回収量、回収日時)をもとに、最適な回収ルートを立案し、決定する(最適な回収ルートを立案後、排出事業者などと回収日時を調整し、最終的な回収ルートを決定)。	再資源化施設等の受入状況 ・廃棄物の受入の可否などを把握 回収拠点の受入状況 ・回収拠点の在庫状況などを把握 収集運搬車両の空き状況 ・収集運搬車両の空き状況などを把握 回収日時の調整 ・回収ルート案に対する可否	情報管理センターが作成 ・搬出予定一覧(データベース) ・回収計画案(回収ルート案の立案) ・回収計画書(回収ルートの立案)	配送計画支援システム	
収車車管適機集両等理化能運の運をす	の運行管理を行う     立案した回収ルートから、その回収に適した回収車両を配車する。     現場へ回収日時を連絡する。     運行している収集運搬車両の位置、積載量を把握し、運行管理を行う。     ドライバーは運転している車両の状況(荷積み状況など)を登録する。  緊急の現場からの回収要望に対応する(要望に応じ、配車を行う)	情報管理センターが把握 ・回収計画書  GPSにより取得 ・収集運搬車両の位置情報  ICタグやパーコードなどから情報を取得 ・収集運搬車両の積載量(廃棄物の回収状況) ドライバーが登録 ・荷積み状況など車両の状況 現場から連絡 ・緊急の回収現場の位置情報 ・廃棄物の種類、量、荷姿	情報管理センターから収集運搬車両 ・運行指示書(回収日時の指示) 情報管理センターから現場など ・回収日時の連絡 情報管理センターが把握 ・各収集運搬業者名 ・各収集運搬車両の現在位置 ・各収集運搬車両の現在積載量 ・運行管理表	建設副産物配送追跡 G P S システム         配送計画支援システム         無線を用いた G P S 車両管理システム         G P S タクシー配車システム         A S P 貨物追跡システム         建設副産物配送追跡 G P S システム         G P S 車両管理システム	<ul> <li>・GPS受信機</li> <li>・無線機</li> <li>・PC</li> <li>・GISソフトウェア</li> <li>・携帯電話</li> <li>・ASPサーバ</li> </ul>
	頼を行う(当日の回収依頼)。 運行している収集車両等の位置、積載量から、緊急の 回収要望に適した配車を行う。 「同収計画記 「回収日時では、「回収ルー 再資源化が、「廃棄物の語」	<ul> <li>・廃棄物の回収希望時間</li> <li>情報管理センターが既に把握</li> <li>・回収計画書、運行管理表</li> <li>回収日時の調整</li> <li>・回収ルート案に対する可否</li> <li>再資源化施設等の受入状況</li> <li>・廃棄物の受入の可否などを把握</li> <li>回収拠点の受入状況</li> <li>・回収拠点の在庫状況などを把握</li> </ul>	・回収ルート案の立案 ・最適車両の選定  情報管理センターから収集運搬車両 ・回収ルートの変更指示 情報管理センターから現場 ・回収日時の連絡	GPSタクシー配車システム	

## 本協議会で検討する具体的な情報処理機能の構成(つづき)

	処理概要	入力情報	出力情報	既存システムの事例	必要な機器等
マニフェス トの交付並 びに管理を 簡素化(効 率化)する 機能	「電子マニフェスト」と連携を図り、マニフェストの「交		排出事業者への登録、確認 ・社内システムへマニフェスト情報を 登録 ・廃棄物の荷姿、位置情報等により適 正処理を確認 再資源化施設等 ・社内システムへマニフェスト情報を 登録 情報処理センター(電子マニフェスト)	モバイル機能と連携した運用事例 デジタルペンによる電子マニフェストの運用事例 小規模営繕工事におけるカメラ付き携帯電話を利用した遠隔操作の事例 産業廃棄物追跡管理システム(GPSと画像情報)と連携した電子マニフェストの運用事例 2次元コードと連携した電子マニフェストの事例	・PC ・ICタグライタ及びリーダまたは ・バーコードなどのライタ及びリーダ・GPS送・受信機・カメラ付き携帯電話
	現場から搬出された廃棄物の「位置情報」「処理状況」 を把握する。また、それら廃棄物の情報を、排出事業者	I C タグやバーコードなどに入力 ・マニフェスト情報(交付年月日、担当者、廃棄物の種類・数量等、排出事業者の情報、運搬業者や運搬先の情報など) 専用端末で読み込み・上記マニフェスト情報 廃棄物の荷姿を写真撮影・廃棄物の荷姿の画像情報 G P S により取得 ・廃棄物(収集運搬車両)の位置情報	・マニフェスト情報を登録 情報管理センター ・廃棄物の位置情報、処理状況を拠点 発着時系列で整理し、データベース 化 適正処理の確認 ・排出事業者、収集運搬業者、回収拠 点、再資源化施設等などが廃棄物の 処理状況を確認	1次元コードまたはICタグと連携した電子マニフェストの運用事例 建設副産物配送追跡GPSシステム 建設副産物集中管理システム	・GPS受信機 ・無線機または携帯電話 ・PC(サーバ・クライアントシステム) ・ICタグライタ及びリーダまたは ・バーコードなどのライタ及びリーダ・スマートプレート(ICチップ) ・アンテナ(読み取り機)
	回収拠点において受入時の厳密な品目・品質及び数量のチェックを行い、その情報を排出事業者(搬出現場)へフィードバックする(なお、廃棄物の在庫管理には、マニフェスト情報を活用する)。  回収拠点に廃棄物を搬入する際に、廃棄物の搬出現場名、廃棄物の種類、数量等をチェックする。また、その際、廃棄物の品質(分別の状況)をチェックする。回収拠点への廃棄物の搬入情報(入庫情報)ならびに廃棄物の品質情報を排出事業者へフィードバックする。回収拠点へ搬入した廃棄物の在庫管理を行う。  回収拠点から搬出する廃棄物の搬出状況等を管理する。回収拠点から搬出する廃棄物の搬出状況等を管理する。 回収拠点から再資源化施設等への廃棄物の搬出情報を排出事業者へフィードバックする。		回収拠点で管理、その後排出事業者へ ・在庫管理表(出入庫管理表)の更新 ・受入情報を排出事業者へ送信 回収拠点で管理、その後排出事業者へ ・在庫管理表(出入庫管理表)の更新 ・搬出情報を排出事業者へ送信	物流管理システム 家電業界による動脈物流における電子 タグ実証実験 e 倉庫内管理システム 無線ハンディターミナル利用の入出庫 管理システム 家電業界による動脈物流における電子 タグ実証実験 e 倉庫内管理システム 無線ハンディターミナル利用の入出庫 管理システム	・ P C (サーバ・クライアント システム) ・ハンディターミナル ・無線 L A N アクセスポイント